

世界10ヶ国で翻訳されているベストセラー

お母さん、お父さん どうしたのかな？

〈こころの病気を抱える親をもつ子ども〉のハンドブック

トウッティ・ソランタウス [著] / アントニア・リングボム [イラスト]
上野里絵 [訳]

なぜこころの病気になるの？ 親の病気は私(僕)のせい？ 親のためにできることはある？ ……など、子どもが抱えやすい悩みにやさしく答え、自分自身の人生を大切にしようというメッセージを伝えます。【主な読者対象:12~20歳】



もくじ

こころの病気ってどんなもの？ / なぜ、こころの病気になるの？ / こころの病気ってどうやって治すの？ / 家族と友達に与える影響 / 誤解 / 子どもの気持ち / 自分の人生を大切にしましょう / サポートについて話そう / 最後に / 日本のみなさんへ / 訳者解説 / 日本の相談サポート情報

2016年6月刊行予定
B5変型判・横組・上製・68頁
本体1,600円+税
ISBN978-4-13-063404-5

世界10ヶ国で翻訳されているベストセラー

子どもに どうしてあげればいい？

〈こころの病気を抱える親〉のハンドブック

トウッティ・ソランタウス [著] / アントニア・リングボム [イラスト]
上野里絵 [訳]

親のこころの病気は子どもにどんな影響を及ぼしている？ 家事が手つかずのとき、どうしたらいい？ 子どもにどう接したらいい？ ……など、こころの病気を抱える親が子どものためにできること、子どもをサポートするための方法を伝えます。



もくじ

お母さん、お父さんへ / お母さん、お父さんのこころの病気は、子どもにどのような影響を及ぼしているのでしょうか？ / お母さん、お父さんからよくある質問 / 親には何ができる？ / 未来を見据えましょう / 日本のみなさんへ / 訳者解説 / 日本の相談サポート情報

2016年6月刊行予定
B5変型判・横組・上製・48頁
本体1,600円+税
ISBN978-4-13-063405-2

本書は、うつ病などこころの病気をもつ親への支援、およびその子どものセラピーを目的として出版され、フィンランドをはじめ世界10カ国で広く読まれているベストセラーの翻訳です。語りかける文章と感性豊かなイラストを通して、こころの病気に対する心配や不安を解きほぐします。当事者や家族だけでなく、医療や福祉の専門家、子育て支援施設などにも役立つハンドブックです。

著者 ソランタウス先生のメッセージ

この2冊は、こころの病気を抱える親とその子どもに向けて書かれました。こころの病気がその人や家族の人生に影を落とすものではないことがわかり、家族になにができるかを知るうえで役に立つでしょう。周囲が理解と思いやりをもって対処すれば、親のこころの病気は子どもの発達を妨げるものではありません。

アントニアが描く感性豊かなイラストによって、親や家族が病気と向き合うなかで経験する世界をつかみ、本文を読むことで親と家族に実際になにが起きているかを理解できます。家族がお互いに理解し合い、さまざまな状況に対処できるようになり、一体感を得ることを目指しています。

保健・医療・福祉サービスに携わる専門家が、こころの病気をもつ親と家族をサポートする方法を知るためにも、本書は役立ちます。成人の精神科あるいはメンタルヘルスサービスの領域では、子育てと子どもへのサポートは新しいとりくみです。専門家に十分な知識がないので対応の仕方にとまどうことも少なくありません。本書は、親と専門家のどちらにとっても、子どもをサポートする手助けとなります。親そして、親を支える人がこれらの本と一緒に読むこともあるでしょう。同様に子ども向けの本は、思春期のセラピーにも使えるでしょう。

『子どもにどうしてあげればいい?』は、2002年にフィンランドで出版されてから約1万部が発行され、成人の精神科で主に使われています。子ども向けの『お母さん、お父さんどうしたのかな?』は、2005年に出版されてから約3万部が発行され、思春期および成人の精神科、学校保健サービスで使われています。これら2冊に加えて、フィンランドではアルコールや薬物関連の問題を抱える親に向けた本もインターネット(www.mielenterveysseura.fi/tlp)から入手することができます。これらは専門家だけでなく、家族からも役に立ったという声が寄せられています。なお、これらの本は、すでに英語、デンマーク語、エストニア語、ギリシャ語、アイスランド語、リトアニア語、ノルウェー語、チェコ語、スウェーデン語、そしてフランス語に翻訳されています。

これらの本が日本の親子や専門家にも役に立つことを心から願っています。ご意見やご要望があれば、著者のアドレス(Tytti.Solantaus@gmail.com)までメールを送ってください。

上別府圭子先生(東京大学大学院医学系研究科教授) **推薦!**

著者略歴

トゥッティ・ソランタウス

フィンランド国立健康福祉センターおよびフィンランドメンタルヘルス協会名誉教授。児童精神科医、家族療法家、精神療法家。子どもや家族の臨床精神医学に加え、子どものメンタルヘルスの問題の予防と健康増進、そしてこの分野の支援やサービスの開発に携わる。欧州委員会では子どものメンタルヘルスに関する専門アドバイザーも務める。

こころの病気を抱える親がいる家族をサポートするために、『子どもと家族のための効果的なプログラム(Effective Child and Family Program)』をフィンランド社会保健省と連携して開発。その支援方法は、フィンランド以外でも、その国々に応じて活用されている。

訳者略歴

上野里絵(うえの・りえ)

東京医科大学医学部看護学科准教授。専門は精神看護学および家族看護学。東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻・博士課程修了。財団法人精神医学研究所付属東京武蔵野病院、国立看護大学校を経て、現職。

注 文 書

お母さん、お父さんどうしたのかな? 〈こころの病気を抱える親をもつ子ども〉のハンドブック
ISBN978-4-13-063404-5 本体1,600円+税

冊

子どもにどうしてあげればいい? 〈こころの病気を抱える親〉のハンドブック
ISBN978-4-13-063405-2 本体1,600円+税

冊

貴店名・番線

[ご住所] 〒

[お名前]

[電話番号]

東京大学出版会

〒153-0041 東京都目黒区駒場4-5-29 電話: 03-6407-1069 FAX: 03-6407-1991
e-mail: order@utp.or.jp URL: http://www.utp.or.jp/